12/3 神戸新聞 朝刊 スポーツ面

神戸大 4連覇

武庫川女大下し10度目V

タッチフット 東西大学王座決定戦 プリンセスボウル

女子タッチフットボールの東西大学王座決定戦「プリンセスボウル」は2日、神戸市灘区の王子スタジアムであり、兵庫勢対決となった決勝は、昨季全日本王者の神戸大（西日本2位）が25―0で武庫川女大（西日本1位）を破り、4年連続10度目の頂点に立った。

神戸大は第1クオーター（Q）にQB山本からWR熊沢へのタッチダウン（TD）パスで先制。2Q、第3Qにも一つずつTDを決めると、第4QにWR佐々木のTDで突き放した。

神戸大は来年1月3日に東京ドームで開かれる日本選手権「さくらボウル」で社会人王者と対戦する。

▽1回戦 神戸大（西日本2位）31―20成城大（東日本1位）、武庫川女大（西日本1位）33―7慶大（東日本2位）▽3位決定戦 成城大46―0慶大 ▽決勝

神戸大	6	7	0	0
武庫川女大	0	0	0	0

▽最優秀選手 熊沢陽香（神戸大）▽ベスト6（攻撃）多加喜早晴、山本真穂（以上神戸大）休徳真千、堀川三紀子（以上武庫川女大）辰野汐里（成城大）八木千晴（慶大）▽同（守備）真田千真、佐々木彩葉、北山翠生（以上神戸大）休徳真千、堀川三紀子（以上武庫川女大）辰野汐里（成城大）八木千晴（慶大）▽同（守備）真田千真、佐々木彩葉、北山翠生（以上神戸大）▽ベスト6（攻撃）多加喜早晴、山本真穂（以上神戸大）堀屋祐佑、青山沙樹（以上武庫川女大）中沢寛子（成城大）

決勝・神戸大―武庫川女大 第3クオーター 神戸大の佐々木（左端）がタッチダウンを決める

9年連続の同一決戦

攻守に隙なし 秋敗戦の雪辱

神戸大、誇らしげ

9年連続となった宿敵・武庫川女大との決勝で、神戸大が攻守に隙を見せない試合運びを見せた。攻撃ではQB山本が長短のパスで相手に的を絞らせなかった。裏のスペースには熊沢、佐々木らレシーバー陣が序盤から走り込み、相手の倍近くとなる212ヤードを獲得した。守ってもロングパスを狙う相手に対し、DB真田主将を中心に勝負どころでインターセプトを

相手の方に勢い

武庫川女大・山川真季主将（4年ぶりの王座奪還はならず）「秋の関西リーグ戦で戦った時よりも、攻守ともに相手の方に勢いがあって押され続けた。キャッチミスも多く、自分らから攻める機会をつぶしてしまった」

見舞った。11月23日のリーグ最終戦では19―25で苦杯をなめた。再戦までの期間に何度もメンバー間で試合のビデオを見直して修正点を確認。武庫川女大に見立てたBチームを相手にした練習を重ねるなど、並々ならぬ思いでこの日に備えてきた。QB山本は「『次は絶対に勝つ』と、チーム全員が気持ちをぶらさず準備してきた結果」と誇らしげだった。（宮崎真彦）